

6年生保護者の皆様

令和4年度 6学年「国語科」シラバス

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	内容
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。
思考力・判断力・表現力	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。
学びに向かう力	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを認識しようとするとともに、すすんで読書をし、言葉をよりよく使おうとする。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○单元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作品 ○作文 ○ノート ○提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容	家庭学習に取り組めること
4月	1 つないで つないで 一つのお話	・一文ずつつないでグループでお話を作り、発表をして感想を伝え合う。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 年間を通して ・音読 ・意味調べ ・漢字練習 </div> ◎「帰り道」 ・読書 ・漢字の組み立てを調べる ・俳句や短歌を作る
	2 春の河・小景異情	・感じたことや考えたことが伝わるように音読する。	
	3 帰り道	・人物の心情や関係について読み取り、感想を書く。	
	4 本は友達	・調べ学習の際に活用する地域の施設の特徴を考え、記録カードのまとめ方を学ぶ。	
	5 漢字の形と音・意味	・漢字の由来、特質を理解する。	
	6 春のいぶき	・二十四節気を知り、春を感じさせる言葉で俳句や短歌を作る。	
	7 聞いて、考えを深めよう	・話し手の意図や内容を聞き、話し合い活動をする。	
5月	8 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	・筆者の主張とそれを支える事例を捉え、自分の考えをまとめる。	◎「笑うから楽しい」
	9 話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の違いに気付く。	
6月	10 たのしみは	・生活の中から題材を見付け、「たのしみ」をテーマに短歌を作る。	・短歌を作る
	11 文の組み立て	・文中の主語と述語、修飾と被修飾の関係を捉える。	
	12 天地の文	・文語調の文章を音読して、言葉の響きやリズムに親しむ。	
7月	13 情報と情報をつなげて伝えるとき	・情報の整理の仕方を知り、報告書を完成させる。	・◎「天地の文」 ・古文や漢文を読み、意味を考える ・調べ学習
	14 わたしたちにできること	・身の回りから環境の問題を見付け、提案する文章を書く。	
	15 夏のさかり	・夏を表す言葉を知り、季節を表す言葉で手紙を書く。	
	16 本は友達	・読書と生活を振り返り、テーマに沿って本を紹介する。	
9月	17 せんねんまんねん	・詩の全体を想像し、表現の効果を考える。	◎「森へ」 「せんねんまんねん」
	18 いちばん大事なものは	・互いの立場や意図を明確にして、話し合う。	
10月	19 利用案内を読む	・媒体の特徴を知り、情報を捉えたり考えをまとめたりする。	・宮沢賢治について調べる ◎「やまなし」
	20 やまなし	・物語の世界を想像し、賢治の生き方について考える。	
	21 秋深し	・秋を感じる言葉を見つけて俳句や短歌を作る。	
11月	22 みんなで楽しく過ごすために	・目的や条件に応じて話し合い、伝え方について考える。	・俳句や短歌を作る
	23 鳥獣戯画を読む・日本文化を発信しよう	・筆者のものの見方や伝え方を捉え、日本文化の魅力を考える	
12月	24 「柿山伏」について	・狂言独特の言葉遣いや、言い回しを現代の言葉遣いと比べ、昔の人のもの見方や考え方を捉える。	◎「『鳥獣戯画』を読む」 ・伝統文化について調べる
	25 大切にしたい言葉	・書き表し方を工夫して、経験と考えを伝える文章を書く。	
	26 冬のおとずれ	・身近に感じる冬の様子を交え、手紙を書く。	
	27 メディアと人間社会	・筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合う。	
1月	28 人を引きつける表現	・表現の工夫とその効果について考える。	◎「メディアと人間社会」
	29 思い出を言葉に	・小学校生活を振り返り、伝えたいことを明確にして表現形式を選んで書く。	
2月	30 今、私は、ぼくは	・資料を活用して思いをスピーチする。	・スピーチの練習をする ◎「海の命」
	31 海の命	・物語を読み、人物の生き方について考えをもち話し合う。	
	32 中学校へつなげよう	・小学校最後の国語学習を振り返り、選んだ作品についてメッセージを考える。	

※上記の学習内容は主なものであり、全てではありません。

※学習の時期や順序は変更になる場合があります。詳しくは学年便りをご覧ください。